

様式2

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

学校名 静岡県立伊東高等学校

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

1 実践テーマ	【 I 】
2 実施対象者	静岡県立伊東高等学校 生徒457人 伊東市立北中学校 生徒 40人
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () 行事名 (光臨・パ・リ・ン・ピ・ク教育講演会) ② その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	義足エンジニアとして、パラリンピック出場者用の義足開発に取り組み、東京オリンピック・パラリンピックでのメダル獲得を目標としている方の講演を通して、チャレンジ、努力、社会貢献、国際的な視野、共生などの感覚を身に付け、高いオリンピズム(精神、身体能力、友情、平和、平等など)を学ぶ。
5 取組内容	① 授業等を通して、オリンピック・パラリンピックの歴史、競技種目、ルールやアスリートの努力、苦悩、生き方に関する内容を取り入れる。 ② 義足エンジニアの講演会の開催    

6 主な成果	パラリンピアンではなく、選手をサポートし、共にメダル・記録を目指している義足エンジニアの講演を聞くことにより、パラリンピック競技に対しての意識・関心を深める事が出来た。 また、障がい者へのサポートの取り組みや技術者としての活動などの話を聞くことができ、障がい者に対する理解とともにキャリア教育の一環にもなった。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	昨年度に引続き、中学校と高等学校の生徒対象に合同で講演会を実施した。 昨年度はオリンピックアスリートを招いて講演会を行い、今年度はパラリンピックに関係する方の講演会を行うことにより「オリンピック・パラリンピック」への意識の向上を図った。
8主な課題等	講師料及び経費の制限
9来年度以降 の実施予定	未定